

5. 政治・行政

	主要項目	参考事例
環境に関する法令の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 環境に関する法令の遵守を徹底する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 法規制の改正など行政の動きを確実に掴み、的確に自社の活動に反映。 ➢ 法規制基準値を上回る自主基準を設定し、それに対応した活動を実施。 ➢ 法規制と地域条例の双方の規制がある場合に、厳しい基準に対応した取り組みを実施。

6. コミュニティ

	主要項目	参考事例
環境負荷と環境リスクの低減への対応(温暖化防止、3Rの推進、化学リスク管理等)	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地球温暖化対策や循環型経済社会の構築に取り組む。 ➢ リサイクル用品の利用を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地域の小中学生を対象とした体験型の環境教育(社員が講師を担当し、社内の環境関連施設を利用)。 ➢ 副生物利用の「バイオサイクル」実施：発酵法により副生される有機成分を含む発酵液を肥料として農地に還元することにより資源の有効活用を図る(味の素) ➢ パソコンの入替におけるグリーン製品の購入。 ➢ 紙のリサイクル、紙使用量の削減、再生紙利用の拡大。 ➢ 各種帳票、資料等の電子化。 ➢ 食堂での生ゴミから生成した肥料を地元住民に配布(三洋電機)
自然保護(含む生物多様性の保全)への取り組み	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 生物多様性の保全を含めた自然保護活動に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ➢ 地球環境問題に関するプロジェクトへの賛同・経営資源の投入。 ➢ 「環境教育」「環境技術」の2分野で、地域に根ざした実践的なプロジェクトを支援する「トヨタ環境活動助成プログラム」を実施。公募制で、国内外の有識者で構成する選考委員会が審査・決定(トヨタ) ➢ 日本自然保護協会との協業による自然観察指導員講習会の実施(富士ゼロックス) ➢ 道路建設等に際して、絶滅の恐れがある小動物が生息するのに必要な保全エリアを確保(建設業界) ➢ (財)都市緑化基金と共催で「緑のデザイン賞」創設。都市部の新たな緑化プランを全国から募集し、優秀なプランを表彰すると同時に、その実現に対して資金助成を行う(第一生命)